



# 七松小学校 学校だより

令和元年度

8・9月号

尼崎市立七松小学校

学校長 森本秀子



☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

## 力をつける二学期に

今年の夏は、連日30度をはるかに超える気温が続き、日本各地で最高気温が塗り替えられました。テレビや新聞でも熱中症の話題が絶えませんでした。暦の上では秋ですが、まだまだ残暑が続きそうです。

始業式、長い夏休みを終えた子どもたちが、真っ黒に日焼けした元気な姿で、七松小学校にかえってきました。子どもたちは、さまざまな経験をして、いろいろな思い出を胸に刻んだことでしょう。どの子も一回り大きく、たくましくなりました。何よりも子どもたちに大きな事故がなく、全員そろって2学期を迎えられたことを大変うれしく思います。長い夏休み生活を、しっかりと支えてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。

この夏話題の映画に、「風をつかまえた少年」があります。アフリカのマラウイに住む14歳のウィリアムが主人公です。大干ばつで食べる物も収入もなくなり、中学校の学費が払えず退学になった彼が、図書館で出会った1冊の本から、独学で廃品を利用した風力発電を作り上げ、家族と村人を救った実話でした。私も観に行き感動しました。周囲を変えていった少年のひたむきな思い。あきらめず挑戦しぬく彼の姿は、学ぶことの大切さを教えてくれました。彼はその後、大学進学を果たし現在はマラウイの経済や教育の発展に尽くしています。話は変わりますが、女性で初めてノーベル賞を受賞した大科学者のキュリー夫人は「たいせつなのは、忍耐力と、なにより自信をもつこと。けっして枯れることのない、好奇心にも似た冒険心が必要である」と語っています。この映画に通じるものがあると感じました。学ぶことは、生きること。生きることは、学ぶこと。そこに幸福があります。可能性の宝庫の子どもたちを信じ、大人が支えていく世の中にと感じます。

さて『実りの秋』といわれる2学期。子どもたち一人ひとりが、自分なりの実現できそうな目標を持って、その達成に向けて進んでほしいと思います。2学期は行事が多く、子どもたちの学習の成果を発揮する機会も多くなります。学校では、9月には体育大会、10月にはオープンスクール七松カーニバル、11月には図工展を計画しています。勉強に運動、読書等、どんなことをするにもよいこの時期こそ、その学年として身に付ける力を、きちんと付けさせていきたいと学校では考えています。授業そのものを充実させるとともに、行事を通して子どもたちを育てていきます。子どもたち一人ひとりが授業や行事に前向きに取り組んでいくことを心より願っています。

そのためには、一日でも早くいつものリズムを取り戻すことが大切です。生き生きと学校生活を送るために、少し早めの起床とともに、さわやかな気分で登校ができるようにしたいですね。2学期も、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしく願います。

### <クイズ>— 2020年のオリンピックは東京で開催される大会として何回目？—

正解は2回目です。オリンピックが初めて東京で開催されたのは、1964年、2020年は2回目です。1回目の開催はアジアでの初開催でもあり、注目されました。開会式までに東京モノレールや日本武道館も開設され、金メダルは16個獲得しました。